

| 科目コード  | ナンバリング     | 単位数   | 学期    | 授業区分  | 科目区分  | 履修区分 | 学年      |
|--|------------|-------|-------|---|-------|------|---------|
| 340004   | XZY2340004 | 2     | 後期    | 国際学部国際文化学科  | 専門    | 選択必修 | 1年      |
| 授業科目   | 担当教員       |       |       | 国際学部国際文化学科英語集中コース   | 専門    | 選択必修 | 1年      |
|  |            |       |       | 情報文化学部情報文化学科  | 専門    | 選択   | 2年      |
|  |            |       |       | 情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)   | ×     | ×    | ×       |
|  |            |       |       | 情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)   | ×     | ×    | ×       |
|  |            |       |       | 情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)   | ×     | ×    | ×       |
|  |            |       |       | 情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)   | ×     | ×    | ×       |
| 日本経済史  | 松本 和明      |       |       | 情報文化学部情報システム学科(24年度以前)  | ×     | ×    | ×       |
| 授業目的   |            |       |       |   |       |      |         |
| 本講義では、江戸時代および明治時代から現代に至るまでの日本の経済成長および産業発展のプロセスを、時代背景や経営環境の変化などをふまえて、立ち入って考究することを目的とする。日本の経済史の変遷をふりかえるにあたり、主体性を発揮した企業および企業家・経営者のスタンスは重要であり、これを学ぶことは有益といえる。そこで、本講義では、各時代を代表する企業および企業家・経営者の足跡と革新的な活動および理念・思想を中心に取り上げていくこととしたい。また、明治期以降の新潟県内各地域の経済・産業、企業および企業家・経営者についても注目していきたい。 |            |       |       |   |       |      |         |
| 健全な社会生活を営むための常識とともに、新潟の地域社会にあつての社会関係構築能力の醸成も目的として設定する。   |            |       |       |   |       |      |         |
| 各回毎の授業内容   |            |       |       |   |       |      |         |
| 第1回<br>【授】イントロダクション<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、自分なりの問題意識をもつこと。予習復習に4時間を必要とする。  |            |       |       | 第9回<br>【授】大正・昭和戦前期の経済成長と新産業の創出ー自動車工業：トヨタと日産ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。 |       |      |         |
| 第2回<br>【授】江戸時代の経済成長<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。   |            |       |       | 第10回<br>【授】高度経済成長と製造業ーソニーとホンダー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。               |       |      |         |
| 第3回<br>【授】江戸時代の商人の活動と理念・思想ー三井高利と越後屋呉服店ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。   |            |       |       | 第11回<br>【授】高度経済成長と流通業ーダイエーとセブンイレブン・ジャパンー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。     |       |      |         |
| 第4回<br>【授】明治時代の経済成長と渋沢栄一①ー生い立ちとヨーロッパでの経験ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。   |            |       |       | 第12回<br>【授】新潟県の経済・産業の変遷①ー銀行業ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。                |       |      |         |
| 第5回<br>【授】明治時代の経済成長と渋沢栄一②ー株式会社と金融・財政システムの確立ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。  |            |       |       | 第13回<br>【授】新潟県の経済・産業の変遷②ー石油業ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。                |       |      |         |
| 第6回<br>【授】明治時代の経済成長と渋沢栄一③ー銀行の生成ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。  |            |       |       | 第14回<br>【授】新潟県の経済・産業の変遷③ー鉄道業ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。                |       |      |         |
| 第7回<br>【授】明治時代の経済成長と渋沢栄一④ー近代ビジネスとインフラストラクチャー事業の創設ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。  |            |       |       | 第15回<br>【授】新潟県の経済・産業の変遷④ー製造業：機械・製紙・米菓業ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。      |       |      |         |
| 第8回<br>【授】明治時代の経済成長と渋沢栄一⑤ー理念と思想ー<br>【前・後】事後学習として、講義内容を吟味するとともに講義時に紹介する文献などの関連項目をチェックすること。事前学習としては、配布資料を精読すること。予習復習に4時間を必要とする。  |            |       |       | 第16回<br>【授】定期試験   |       |      |         |
| 成績評価方法   |            |       |       |   |       |      |         |
|  | 知識・理解      | 思考・判断 | 関心・意欲 | 強調・指導力  | 発表・表現 | その他  | 評価割合(%) |
| 定期試験   |            |       |       |   |       |      | 50      |
| 小テスト・授業内レポート   |            |       |       |   |       |      | 20      |
| 宿題・授業外レポート   |            |       |       |   |       |      | 30      |
| 授業態度・授業への参加  |            |       |       |   |       |      |         |
| 成果発表(口頭・実技)  |            |       |       |   |       |      |         |
| 演習   |            |       |       |   |       |      |         |
| その他  |            |       |       |   |       |      |         |
| 各回の講義時には、「授業内レポート」として、『リアクションペーパー』を提出してもらう。講義内容に対する疑問・質問・コメント等を記して頂きたい。次回以降の講義でポイントとなるべき事項をフィードバックする。  |            |       |       |   |       |      |         |
| 教科書参考書   |            |       |       |   |       |      |         |
| 安部悦生編著『グローバル企業』文真堂、2017年。同書を「授業外レポート」の課題図書とする。参考書は適宜紹介するが、最重要な文献として、島田昌和『渋沢栄一』岩波新書、2011年を掲げておく。なお、各回の講義時には資料・レジュメを配布する。  |            |       |       |   |       |      |         |
| 受講に当たっての留意事項   |            |       |       |   |       |      |         |
| 本科目は、歴史的事実の暗記は重視しない。経済や産業および企業の変遷のストーリー性とその主体となる人物のあゆみに着目していく。本科目は、「歴史を学ぶ」というよりも、「歴史に学ぶ」姿勢を大切にしたい。各回何らかの「気づき」が得られ、全体として実り多いものとなるように、努力するつもりである。それゆえ、興味・関心の高い学生の受講を期待する。  |            |       |       |   |       |      |         |
| 学習到達目標   |            |       |       |   |       |      |         |
| 本講義の到達目標は、日本および新潟県の経済成長の変遷を理解し、代表的な企業家・経営者のダイナミズムや理念・思想を説明でき、これらに対する歴史的＝長期的視点を育み、今後の調査・研究等に活用できることである。   |            |       |       |   |       |      |         |
| JABEE  |            |       |       |   |       |      |         |

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習